

加藤 廣行 議員

刈谷球場を移転させ、亀城公園と一体となった魅力ある整備を

公園周辺整備の中で、改めて方向性を検討していく

刈谷球場は昭和25年に建設された。現在、交通量の多い道路に隣接しており、危険である。球場を移転させ、跡地を亀城公園と一体となった魅力あるものに活用することを検討しているか。

現在の敷地が狭く、住宅地に隣接していることから、近隣住民にご迷惑をかけてきた経緯を踏まえ、現在の土地での再築か移転建築も含めて検討する必要がある。

移転となると時間も財源も必要となるため、早めに検討してはどうか。



平成6年に改築された刈谷球場

刈谷市まちなかマネジメント構想に基づき、平成29年度に策定している刈谷市中心市街地まちづくり基本計画において、亀城公園周辺エリアの整備方針を検討している。今後は、財政状況や他の事業との関係を見ながら検討していく。

上田 昌哉 議員

徐々に課題が増す市の人口動態に対し、危機感を持った対応を

生涯の居住地として安心安全を提供し続けられるよう努める

ファミリー層の転出が多いが、どう対応しているか。

本市が子育てしやすく、居住地としての魅力が高いためと認識していただけるよう、子育て・教育施策を充実させることや住居系新市街地の創出などに取り組んでいる。

本市は住みやすいが、地価が高いため、家を購入する意欲を高める施策が今後さらに必要と考える。一方、若年女性と

乳児の数が減少しており、未婚率も高い傾向にある。結婚対策に関する市の補助は。

現在、婦人会が中心となっており、結婚支援事業に対して補助をしており、引き続き支援していく。また、その他の団体などが行う結婚支援事業は、内容によっては既存の各種補助金が対応できると考えており、事業に協力できるようにしていきたい。

松永 寿 議員

将来にわたる活力維持のため、高齢者の活躍推進を

高齢者が充実した人生を過ごせるよう引き続き支援する

県内高齢者の就業状況は。

愛知県労働局によると、平成29年6月1日時点で65歳以上の常用労働者は約9万人で、そのうち約2万4千人が70歳以上である。また、7月から9月の65歳以上の求職者数は約5千

人で、完全失業率は1.2%である。高齢者の常用労働者数は年々増加しており、完全失業率は前年の同時期よりも減少しているため、高齢者の就業状況は改善していると考えられる。

高齢者雇用の問題は。高年齢者が人手不足である一方で、多くの高齢者が職を求めている現状である。これは企業側のニーズと高齢者の希望が一致していないためと考えられる。

企業が高齢者の希望が一致していないためと考えられる。

本市における高齢者の就業支援施策はどのようなか。

高齢者の早期再就職支援や高齢者が生涯現役で働くためのセミナーを開催している。

高年齢者の早期再就職支援や高齢者が生涯現役で働くためのセミナーを開催している。

神谷 昌宏 議員

市民の声に耳を傾け、公園に健康遊具の設置を

既存公園についても状況を考慮し検討していく

会派で開催したタウンミーティングの中で、公園へ健康遊具を増やして欲しいという要望があった。現在の健康遊具の整備状況は。

6つの公園に設置している。このうち3つの公園では、健康遊具ゾーンを設け効果的な体力づくりが可能な遊具を設置している。また、住民参加により計画策定を行った3つの公園では、地域の方の意見により、

健康遊具ゾーンを設け効果的な体力づくりが可能な遊具を設置している。また、住民参加により計画策定を行った3つの公園では、地域の方の意見により、

健康遊具を設置する予定である。既存の公園に設置する場合は、

井ヶ谷町の伊勢山公園を整備し、健康遊具を設置する予定である。既存の公園に設置する場合は、

鈴木 絹男 議員

地元住民の強い願いである野田市民館の早期建設を

2020年度の開設に向け調整を進めていく

現在、野田地区には市民館がない状況である。平成28年3月議会でも市民館の必要性を訴えてきたが、その後の動きは。

市民館の一刻も早い建設は、地元の強い願いである。今後のスケジュールは。

3月27日に地元説明会を開催し、30年度に用地取得、31年度に建設を行い、その翌年度の開設を予定している。



いきいきと活躍する高齢者(路上喫煙防止バトロール)

市民の声に耳を傾け、公園に健康遊具の設置を

既存公園についても状況を考慮し検討していく

休憩用途を兼ねたベンチタイプの健康遊具を設置している。

今後の設置予定は。

井ヶ谷町の伊勢山公園を整備し、健康遊具を設置する予定である。既存の公園に設置する場合は、

公園の利用状況や既存の公園施設の設置状況、地域間の配置バランスなどを考慮し、設置を検討していく。

公園の利用状況や既存の公園施設の設置状況、地域間の配置バランスなどを考慮し、設置を検討していく。

市民館の一刻も早い建設を

市民館の一刻も早い建設は、地元の強い願いである。今後のスケジュールは。

3月27日に地元説明会を開催し、30年度に用地取得、31年度に建設を行い、その翌年度の開設を予定している。

3月27日に地元説明会を開催し、30年度に用地取得、31年度に建設を行い、その翌年度の開設を予定している。



地元説明会の様子

議会トピックス

議員研修を実施(2月8日)

弁護士の太田雅幸氏をお招きし、「議員が守るべき政治倫理」についてご講演いただきました。

交通安全オープンニングキャンペーンで交通安全の啓発(4月6日)

春の全国交通安全運動の気運を高めるため、刈谷駅周辺で、「横断歩道は注意しろあんなパン」を配布し、交通安全を呼びかけました。一人ひとりが日頃から交通安全を意識し、交通事故のないまち「刈谷」となるように、今後も啓発活動に努めてまいります。



議員研修会の様子



白あんパンを配布

かけはし

編集後記

◆新緑の季節となりました。この春、期待に胸ふくらませ入学・就職をされた皆様、おめでとうございます。新しい環境に慣れない方もいらっしゃるかと思います。市内には、たくさん公園がありますが、市内には、たくさん公園がありますので、天気の良い日に公園に出かけ、花や樹木をご覧になったり、ウォーキングで気分のリフレッシュをされてみてはいかがでしょうか。

◆3月定例会では、市民の皆様への生活を守る平成30年度予算をはじめ、市政に関わる議案、市民の方からの陳情などの審査が行われました。

◆4月には、肢体に不自由がある児童・生徒を対象とする刈谷市立刈谷特別支援学校を開設しました。本学校の通学区域は、刈谷市、知立市、高浜市となります。今後も子どもたちに優しい刈谷市であり続けられるよう、市議会としてもより一層努力してまいります。

◆刈谷市議会では「市民に開かれた議会」を目指しています。是非、議会の傍聴にお越しください。是非、議会の傍聴にお越しください。是非、議会の傍聴にお越しください。

(議会広報委員会)